

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	技術英語講読 Reading on Technical English		単位 2
	一般・専門の別・ 学習の分野	専門・機械とシステム	授業形態・学期	講義・前期
	対象学生	MS－1	必修・選択の別	選択
	担当教員・所属	山口大造・総合理工学科先進科学系		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	工学／機械工学		
	専攻科学学習目標との 関連	本科目は専攻科学学習目標「(2) 材料と構造，運動と振動，エネルギーと流れ，情報と計測・制御，設計と生産・管理，機械とシステムなどの専門技術分野知識を修得し，機械やシステムの設計・製作・運用に活用できる能力を身につける。」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F)コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成，F－2：発表や討論をとおして，相手の考えや知識の相互理解ができること」である。付随的には「A－2」にも関与する。		
	授業の概要	英文で記載された論文を中心に論文の講読と文献紹介を行う。専門知識を確認しながら読解力の育成を図るとともに，英文論文の内容をまとめて発表する文献紹介を通してプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力の育成を図る。		
	学習目的	英文で記載された論文の内容を理解して仕事に活用したり，これを要約して分かりやすく伝えるための素養を育成する。		
	到達目標	1．適切な英文論文を検索でき，その内容について理解できる。 2．英文技術論文の内容について英語でスライドを作成することができ，日本語で紹介プレゼンテーションができる。 3．英語による質問を理解して日本語による応答ができる。		
履修上の注意		本科目は「授業時間外の学習を必修とする」科目である。1単位あたり授業時間として15単位時間開講するが，これ以外に30単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。概要発表を必ず行うことを単認定要件とする。		
履修のアドバイス		専門分野の基礎知識が前提となる。必ず予習をし，毎日英語に触れる機会を持つように心掛けること。		
基礎科目		英語，機械工学・電子制御工学に関する専門基礎知識		
関連科目		実践英語Ⅰ（専1年），実践英語Ⅱ（専2）		

授業にかかわる情報				
授業の方法			英文論文に関するリテラシーおよび英語によるプレゼンに関する教育を実施した後、パワーポイントや各種のメディア、板書など中心にした発表方法で学生が選定した英文論文概要のプレゼンを実施する形で授業を進める。また、教員が選定した課題レポート（①～③）を実施する。教員および学生間の議論（プレゼンテーション含む）に多くの時間を割り当てながら授業を進める。専門基礎知識の確認を併せて実施し、質疑応答を通して内容の理解を深める。4週以降：次週発表予定の学生は、選定した論文を公表し、他の学生は、次週の質問を英語にて準備する（レポートとして提出）。論文概要の発表の前に自身の研究について、英語で発表する（発表時間3分程度）。	
授 業 計 画	開講週		授業時間内の学習内容〔項目〕 (指示事項)	授業時間外の学習内容〔項目〕 (指示事項)
	前 期	1 週	●ガイダンス、研究活動について	課題（1）研究不正について①
		2 週	●研究活動と論文	課題（2）研究室について②
		3 週	●学術文献に関するリテラシー教育	課題（3）投稿規程について、 概要発表論文の決定③
		4 週	●英語によるプレゼン技術	課題（4）自分の研究について（英文）、 英文質問準備（1）
		5 週	●英文論文の 概要発表（1）	課題（5）英文質問準備（2）
		6 週	●英文論文の 概要発表（2）	課題（6）英文質問準備（3）
		7 週	●英文論文の 概要発表（3）	課題（7）英文質問準備（4）
		8 週	●英文論文の 概要発表（4）	課題（8）英文質問準備（5）
		9 週	●英文論文の 概要発表（5）	課題（9）英文質問準備（6）
		10 週	●英文論文の 概要発表（6）	課題（10）英文質問準備（7）
		11 週	●英文論文の 概要発表（7）	課題（11）英文質問準備（8）
		12 週	●英文論文の 概要発表（8）	課題（12）英文質問準備（9）
		13 週	●英文論文の 概要発表（9）	課題（13）英文質問準備（10）
		14 週	●英文論文の 概要発表（10）	
		15 週	●総括	
教科書、教材等			教科書：適宜プリントを配布する	
成績評価方法			プレゼンテーション（発表内容20％、スライド内容20％、ディスカッションへの取組姿勢20％）60％、レポート内容40％として総合的に評価する。	
受講上のアドバイス			エンジニアに英語は必須である。授業には、各自で自発的、積極的に取り組むとともに、英語に触れる機会を多く持つように心掛けること。15分を越える遅刻は、欠課とみなす。	

ルーブリック							
	理想的なレベルの目安（優）		標準的なレベルの目安（良）		未到達レベルの目安（不可）		
評価項目 1	適切な英文論文を検索でき，その内容について理解でき，自身の活動に反映させる計画が立てられる。		適切な英文論文を検索でき，その内容について理解できる。		適切な英文論文を検索できず，且つ，その内容について理解できない。		
評価項目 2	英語により，自身の研究内容についてプレゼンテーションできる。		英文論文の内容について英語でスライドを作成することができ，日本語で紹介プレゼンテーションができる。		英文論文の内容について英語でスライドを作成することができない。		
評価項目 3	英語により質疑応答ができる。		英語による質問を理解して日本語による応答ができる。		英語による質問について理解できない。		
評価割合							
	発表内容	スライド内容	ディスカッションへの取組姿勢	自己評価	レポート内容	小テスト	合計
総合評価割合	20	20	20	0	40	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	20	20	20	0	40	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0